

5. 開業歯科医院の中でのおやつ指導の現状

市来歯科 市来英雄

当院でのおやつ指導は、複雑化した環境の中でいかにしたら有効な食生活を送れるかを一つの基本理念において、臨床の場では個人的には保護者に直接、集団的には数人を対象にした母親学級を設けて行っている。

その指導は、院長を含めた歯科医あるいは歯科衛生士によってなされる。

当院では、おやつ指導に対して統一した指導要項をまとめているが、それには小児の年齢層を2段階に分けること、つまり幼児期と学童期の2段階に分け、その年齢層に合わせて指導がなされることである。

さらにおやつは、情操教育的・心理的に影響を与えるという方面からもとらえ、それに対する指導も行うことにしている。特に幼児期では、最も大事なこの幼児の食習慣形成時期をとらえ、“甘いもの好きにしない”、“好き嫌いのない”、“味覚域の豊かな”人間が形成されるようにと、それらを念頭においている。

さて、実際の指導は、その時代の社会環境に合わせ、視聴覚的な材料を特別に取り揃えて効果的に行っているつもりである。その例を交えてスライドを使って説明したい。